

第32期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

01 株主の皆様へ

— 新たな時代環境を勝ち抜く「強いIPの創造」

03 特集

— 「強いIPの創造」に向けて

05 決算ハイライト

07 ニュース&トピックス

08 株主の皆様へのお知らせ

09 株式データ

10 会社概要



Really! Mad+Pure

株主の皆様へ



新たな時代環境を勝ち抜く 「強いIPの創造」

代表取締役CFO

林 真司

代表取締役会長CEO

松浦 勝人

代表取締役社長COO

黒岩 克巳

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期の業績

当期の業績は、売上高が1,601億26百万円(前期比2.0%減)、営業利益は70億89百万円(同2.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は23億54百万円(同9.5%減)となりました。売上高については、音楽事業におけるパッケージ商品の販売が増加したものの、デジタル事業における映像配信サービスの会員数減少等により、微減となりました。

また、営業利益については、本社ビルコスト及び音楽事業における販管費の減少等により増益となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益については、減損損失と事業整理損を特別損失に計上したこと等により減益となりました。

セグメント別の状況

音楽事業は、パッケージ商品の販売が増加したこと、販管費が減少したこと等により増収増益となりました。

アニメ事業は、パッケージ商品の販売が減少したこと等により減収減益となりました。

デジタル事業は、映像配信サービスの会員数が減少したこと等により減収減益となりました。

新たな時代環境を勝ち抜く「強いIPの創造」

当社グループは、中長期的な成長を実現するために、ヒットコンテンツ創出に向けた積極的な投資や国内外の有望なパートナーとの連携による事業開発を進めるとともに、技術革新等に伴う市場環境の変化に呼応するための事業体制の再構築や、活力ある人材を育成するための環境整備

といった全社的な改革に取り組んでまいりました。その結果、注力する事業分野である「音楽」「アニメ」「デジタル」の既存エンタメ領域では、国内市場において安定した収益基盤を確立することができました。一方で、エンタテインメント業界を取り巻く外部環境は、グローバル化に伴うマーケットの拡大や技術革新に伴う新たなクリエイティヴの誕生の可能性等、新たな時代環境へと変化しています。このような変化に対応するために、「既存エンタメ領域」「グローバル領域」「テクノロジー領域」を注力領域とし、新たな時代環境を勝ち抜く「強いIPの創造」の実現を目指すとともに、2024年3月期の営業利益200億円を目標値として設定いたします。

株主還元について

株主還元については、連結配当性向35%以上、年間配当金の最低水準50円という配当方針を掲げており、2019年3月期の年間配当金は1株当たり50円とさせていただきました。

2020年3月期についても、この方針に基づき、1株当たりの年間配当金を50円とする予定です。

当社グループは、新たな時代環境を勝ち抜く「強いIPの創造」を実現し、エンタテインメントを通じて世の中に驚きと感動をお届けしてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役会長CEO 松浦 勝人

代表取締役社長COO 黒岩 克巳

代表取締役CFO 林 真司

「強いIPの創造」に向けて

「Entertainment×Tech×Global」をキーワードとして、エンタテインメント業界を取り巻く外部環境の変化に対応し、新たな時代環境を勝ち抜く「強いIPの創造」への取り組みを推進しています。

『未来型花火エンターテインメント「STAR ISLAND」™』を海外で初開催

2017年、2018年にそれぞれ1万5千人を動員し、花火イベントとしては異例の全席有料でチケット完売となった『未来型花火エンターテインメント「STAR ISLAND」™』は、日本が世界に誇る“花火”と最先端の3Dサウンドテクノロジー、さらには最高峰のパフォーマンスが融合した世界初のエンタテインメントです。アジア最大級のシンガポール政府後援のカウントダウンイベント「MARINA BAY SINGAPORE COUNTDOWN 2019」にて、海外初進出となる「STAR ISLAND SINGAPORE COUNTDOWN EDITION」を開催し2万人を動員しました。今年は、3度目となる東京開催が2019年7月20日(土)に決定。シンガポールでも、2020年末までの3年連続開催が決定しており、さらにサウジアラビアで、建国記念日にあたる2019年9月23日(月)に公演を開催することで基本合意しました。今後もグローバルに販売できるコンテンツとしてさらに進化させていきます。



STAR ISLAND SINGAPORE COUNTDOWN EDITION

技術革新に伴う新たなクリエイティヴ誕生の可能性を追求

テクノロジーを活かした新たなビジネスの可能性を追求するため、デジタルトランスフォーメーションに寄与することを目的に、2019年5月14日に「エイベックス・テクノロジーズ株式会社」を設立しました。また、近年、YouTuber等ネットで人気を集める「個人クリエイター」のコンテンツが大きな影響力を持ち「個人メディア化」の動きが広がっており、今後もマーケットの拡大とともに、多数の人気者が生まれると予測されます。そのような中、当社グループでは、インフルエンサー育成とインフルエンサーエージェンシーに特化した事業を展開する「エイベックス & CJTV Influencer株式会社」の設立、ライブ配信者支援事業等を展開する「株式会社TWH」の子会社化、美容系YouTuber事業とメイク・コスメ情報共有メディア「MAKEY」の運営を行っている「株式会社MAKEY」の子会社化等、「個人クリエイター」の発掘・育成を積極的に推進しています。


avex technologies


avex & cjtv Influencer

TWH
MAKEY

世界の音楽スタートアップとのオープンイノベーションプロジェクト

「Future of Music」を開始

世界中の最先端のスタートアップとともに音楽体験の未来をデザインしていくためのオープンイノベーションプロジェクト「Future of Music」を2019年2月に開始しました。革新的なアイデアや技術の力で、今よりももっとクリエイティブで、エキサイティングで、効率的で、社会に貢献できるような音楽体験や、アーティストとファンの想いが、より一層情熱的に混じりあっていく未来を目指して、業界、国境を超えて、音楽のイノベーションを積極的に推進します。すでにドイツ・ベルリン発のヒーリング音自動生成アプリを提供している「Endel」等に出資し、アプリの流通やプロモーションのほか、さまざまな企業とのアライアンスの推進等、戦略的コラボレーションを行い、日本における事業拡大をサポートしています。



投資・協業基準

対象

Pre-Seed～Early stageの
世界中の音楽にまつわるスタートアップ

投資金額

1件当たり：～\$1M

領域

未来の音楽体験をともに開発できる
可能性のあるものすべて

例

XR(AR、VR etc.)、AI、ブロックチェーン、音響・映像技術、
新しいライブ体験、ファンコミュニケーション ほか

新たなナイトカルチャーを創出する「SEL OCTAGON TOKYO」をオープン

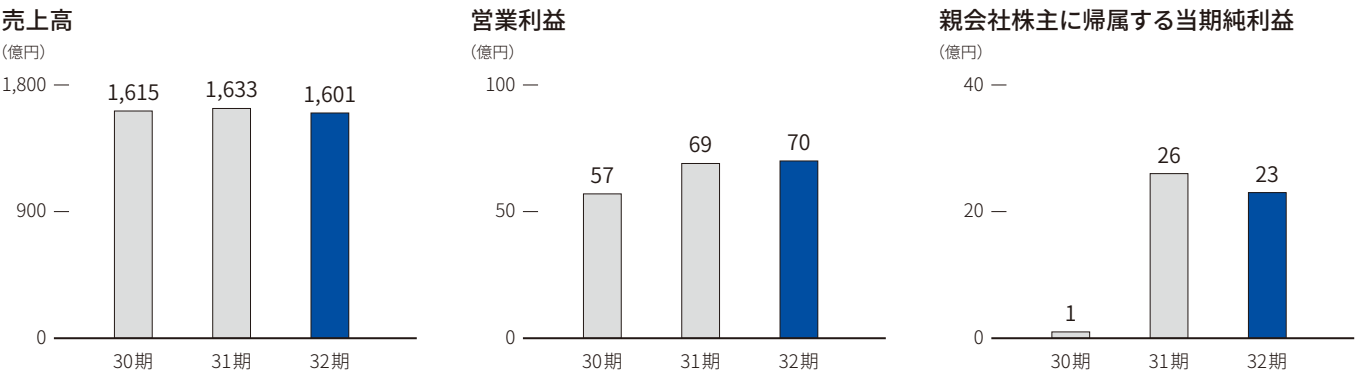
訪日外国人の増加、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控える中、2019年2月7日にエンタテインメント×アート×デジタルテクノロジーの要素を兼ね備え、新たなナイトカルチャーを創出する「SEL OCTAGON TOKYO」を、国内有数の国際ショナルタウンである六本木にオープンしました。店内はMAIN FLOOR、季節ごとにアート展示されるGALLERY BAR、国内外のセレブリティが集うVIP AREAで構成され、世界で初となる超音波を取り入れた音響理論「3D SOUND」を導入し、聴衆に未知の感覚を提供するとともに、国内クラブでは最大数となる10台のレーザーを配備し、鏡面仕様の壁面にレーザーを反射させてスペクタクルな空間を演出しています。また、最新のテクノロジーを活用した静脈認証によるスマートな決済システムを導入し、万全なセキュリティとスムーズなオペレーションを実現しています。



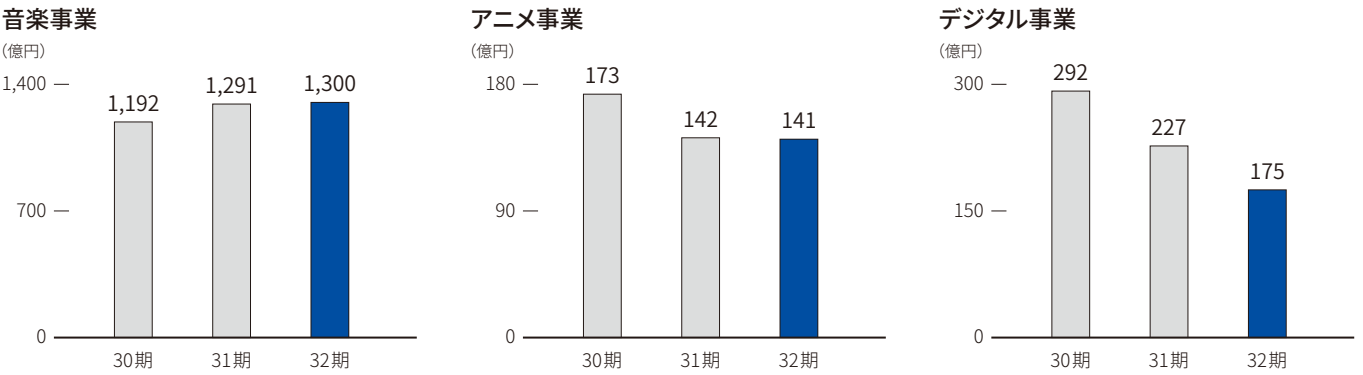
決算ハイライト

連結業績においては、音楽事業におけるパッケージ商品の販売は増加したものの、デジタル事業における映像配信サービスの会員数減少等により、売上高が1,601億26百万円(前期比2.0%減)となりました。営業利益は本社ビルコストの減少や音楽事業における販管費等の減少により70億89百万円(同2.2%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失と事業整理損を特別損失に計上したこと等により23億54百万円(同9.5%減)となりました。セグメント別では、アニメ事業、デジタル事業が減収となったものの、音楽事業の売上高は伸長しました。

連結業績の推移



セグメント別売上高の推移



連結貸借対照表の要約

	(単位：百万円)	
	第31期	第32期
流動資産	66,410	58,047
固定資産	66,477	67,761
流動負債	68,068	64,272
固定負債	12,359	9,480
純資産	52,460	52,055
総資産／負債及び純資産	132,887	125,808

流動資産は、現金及び預金の減少等により、83億63百万円減少しました。また、借入金の返済等により、流動負債が37億96百万円、固定負債が28億79百万円それぞれ減少し、自己資本比率は38.6%となりました。ROEは親会社株主に帰属する当期純利益の減少により4.8%となりました。

連結損益計算書の要約

	(単位：百万円)	
	第31期	第32期
売上高	163,375	160,126
売上原価	114,967	113,820
売上総利益	48,408	46,306
販売費及び一般管理費	41,469	39,216
営業利益	6,939	7,089
経常利益	6,582	6,529
親会社株主に帰属する当期純利益	2,601	2,354

その他の指標

1株当たり当期純利益	54.53円
1株当たり純資産	1,120.78円
1株当たり年間配当金	50.00円
自己資本比率	38.6%
ROE(自己資本当期純利益率)	4.8%

エイベックスの働き方改革

「ひとりひとりがスマートに働く集団へ」を目指し、エイベックス流の働き方改革を推進しています。

FFF制度（トリプルエフ制度）

エイベックスグループは「社内に流動性が生まれ、部署にこだわらないコラボレーションが生まれていくこと」「人を楽しませるためには、まずは自らが楽しんで働くこと」を目的に、場所や時間を選ばない働き方の仕組みを用意しています。「Free Location（テレワーク）」「Free Address（フリーアドレス）」「Flex Time（フレックス）」の「3つのF」で、エイベックスらしいスマートな働き方の実現を目指しています。



女性活躍推進プロジェクト「nadesico a-project」

“女性視点を交えてエイベックスの企業課題の解決を目指す”ことを目的に2017年夏に発足した「nadesico a-project」は、全社横断的にさまざまな職種、ライフステージの女性社員により構成されています。当社女性社員を対象としたアンケートの実施や、男性社員の一部からもグループインタビューを実施することで、課題を見極め「キャリアの見える化」「社員満足度の向上」「ヒットコンテンツの創出」の3つを軸にさまざまな取り組みを行っています。

具体的には若手女性社員を対象とし、女性の管理職社員や、ママ管理職社員を囲んだセッション「nadesico meeting」の実施やライフポートフォリオ研修の開催等、キャリアを意識するような施策を実施しました。女性だけでなく、全社員向けの社内マンスリー

のイベントのプロデュースや、社内契約ヨガクリエイターの方を招いた社員向けのヨガ教室の企画・運営等、社員が満足できるような施策も行っています。また、a-nationの来場者の女性に向けてのアンケートを実施し、集計結果を全社員に公表することで、今後のIP創造に向けてのバックアップをする等、全社員に向けて女性視点を活かして幅広く活動を続けています。



nadesico a-project

株主の皆様へのお知らせ

当社では、基準日（毎年3月31日）現在の株主の皆様を対象に、保有株式数・保有年数に応じて株主優待を実施しています。（当社コーポレートサイト内「株主優待」のページからもご確認いただけます。）

株主優待内容

「a-nationチケット優先予約制度」*

夏のライブイベント「a-nation」のチケットを一般販売に先がけてお申込みいただける制度であり、保有株式数・保有年数に応じた割引もあります。

*「a-nation」の開催内容、チケット価格、割引率等は年度によって異なりますので、予めご了承ください。

割引率

保有株式数 \ 保有年数	3年未満	3年以上	5年以上	10年以上
100株以上300株未満	0%	10%	20%	30%
300株以上1,000株未満	10%	20%	30%	40%
1,000株以上	20%	30%	40%	50%



「株主限定スマプラミュージック」*

「株主限定スマプラムービー」*の進呈

当社株式を100株以上保有する株主様に、年間のヒット曲、話題曲を収録した非売品の「株主限定スマプラミュージック」と、ライブ映像や映像配信サービスのオリジナル動画コンテンツを収録した「株主限定スマプラムービー」をお送りしました。

*「スマプラミュージック」「スマプラムービー」はスマートフォン、タブレットやパソコンでコンテンツが楽しめるサービスです。※パソコンではスマプラミュージックのみ対応。



株式データ (2019年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数：

184,631,000株

発行済株式総数：

45,141,500株

1単元の株式数：

100株

株主数：

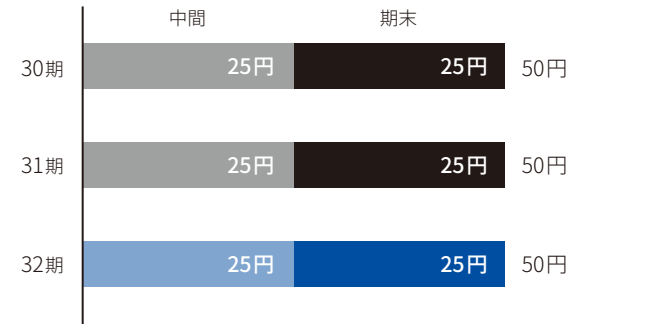
27,419名

大株主(上位10名)

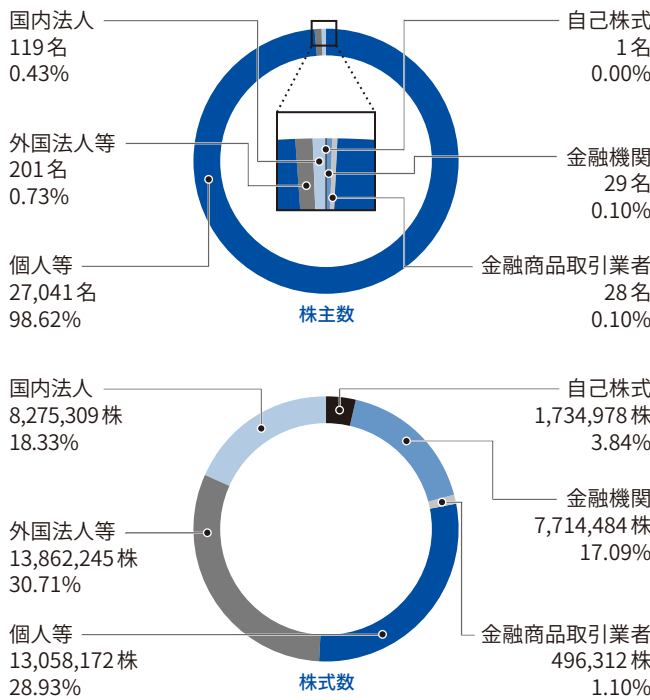
株主名	持株数
有限会社ティーズ・キャピタル	2,250,000株
株式会社マックス2000	2,050,000株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,033,300株
株式会社サイバーエージェント	2,000,000株
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,820,837株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,718,800株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,355,600株
小林 敏雄	1,157,818株
株式会社第一興商	1,020,000株
松浦 勝人	943,424株

注) 1. 上記以外に当社保有の自己株式1,734,978株があります。
2. 株式会社マックス2000は当社代表取締役会長CEO松浦勝人が代表取締役を務めています。

配当の推移



株式分布状況



会社概要 (2019年3月31日現在)

会社名	エイベックス株式会社 Avex Inc.
本社所在地	〒107-8577 東京都港区南青山三丁目1番30号 エイベックスビル
設立年月日	1988年(昭和63年)4月11日
資本金	43億3,381万7,350円
従業員数	178名 (グループ従業員数1,461名)



コーポレートサイト
<https://avex.com>

(2019年6月21日現在)

取締役	代表取締役会長CEO	松浦 勝人
	代表取締役社長COO	黒岩 克巳
	代表取締役CFO	林 真司
	取締役(非常勤)	見城 徹
	社外取締役	安藤 浩之*
監査役	社外取締役	大久保 慶一*
	常勤監査役	岩田 真吉
	常勤監査役	小林 伸之
	社外監査役	玉木 昭宏*
	社外監査役	山本 照雄*



アーティスト、商品等のポータルサイト
<http://avexnet.jp/>

* 東京証券取引所が一般株主保護のため確保することを義務付けている独立役員です。



エイベックス株式会社

〒107-8577 東京都港区南青山3-1-30 エイベックスビル

Avex Inc.

Avex Building, 3-1-30 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-8577, Japan

●この冊子に関するお問い合わせ先

エイベックス株式会社

経営管理本部 経営企画グループ stock@av.avex.co.jp

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部(証券コード：7860)

ご案内

公告の方法

電子公告により行います。

公告掲載URL <https://avex.com/jp/ja/public/koukoku/>

(ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)

株式の手続き

- 証券会社の振替口座でお持ちの株式 ➤ 口座を開設している証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式 ➤ 上記特別口座の口座管理機関、もしくは同機関の全国支店までお問い合わせください。

配当金計算書について

同封した「配当金計算書」は、配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券会社の口座でお受け取りの方は、同証券会社にてご確認ください。